



住まいの安全に関わる

課題の把握と対応について
立憲民主えびな たち 登志子

問 市道に面した敷地で地盤沈下や排水管への土砂流入が確認された場合、道路表面に陥没や亀裂がない段階でも、道路下の空洞化や道路施設への影響に不安が生じます。市は道路管理、下水道、雨水排水の観点から、公共側への影響の有無をどのように確認するのか伺います。

答 (まちづくり部次長) …道路の場合は表面の亀裂、陥没、たわみや道路側溝などのつなぎ目の開き具合などについて、下水道施設では近傍マンホール内の流れの異常について、いずれも目視で確認を行います。異常を確認したときは道路下の調査や掘削による確認を行う場合があります。

問 汚水の側溝などへの流入が疑われる状況に気づき、不安を覚えた場合、流入の有無、経路、所有者や施工業者などの関与、周辺環境への影響をどう確認するのか伺います。

答 (まちづくり部次長) …調査により流入が確認できた場合は、流末水路の調査をし、影響範囲の把握と流出元の原因の特定を行うとともに被害拡大防止対策を行います。建物所有者には雨水管への排水の停止を指示するとともに、汚水管への接続替えなど改善のための指導を行います。

問 エアコン設置や配管工事、リフォーム工事の際、筋交い、柱、耐力壁などを傷つけると住宅の安全性に影響する可能性があります。施工業者側への注意喚起とあわせ、市民にも分かりやすく注意喚起していただければと考えますが、市の見解を伺います。

答 (まちづくり部次長) …市民に対する注意喚起については、近隣自治体の状況なども踏まえ、周知内容や方法について研究してまいります。また、施工業者への注意喚起については、関係団体への周知方法などを検討していきたいと思っています。



障がい者とその家族への支援、農地保全と温暖化対策の両立について

無党派 田中 ひろこ

問 障害年金や手帳の手続きができていない方に同行して市に相談しましたが、手続きが複雑で、社会保険労務士に連絡して必要な情報が分かりました。市は情報をコンパクトに見える化して相談者にわかりやすく知らせてほしいと思います。また、ある家族によると令和7年秋に市と障がい者サポートセンターからアンケートが送られてきて回答したところ、就労支援のお知らせが来たので、お子さんが昼夜逆転していると伝えたら、その後は何の音沙汰もなかったと聞いています。就労できずに苦しんでいる人にご支援が必要ではないかと思いますが、見解を伺います。

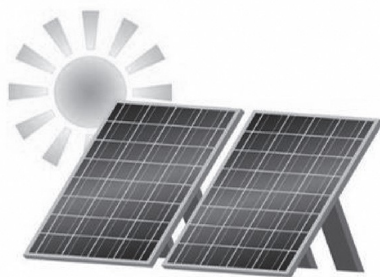
答 (保健福祉部長) …福祉については寄り添うことが第一という姿勢で取り組んでおります。コンパクトな説明資料については研究させていただきます。アンケートについては必要な方に支援ができるように行っているものですので、今後しっかり対応したいと考えております。

問 稼げる農業をめざして営農型太陽光発電事業に取り組んでみたいという人もいます。もし農業者から相談があった場合、市はどのような支援を行うのか伺います。

答 (経済環境部次長) …現在、市には営農型太陽光発電導入を財政的に支援する補助制度はないので具体的な支援は困難ですが、農林水産省で農業技術指導や営農計画までを含めた相談窓口が設置されていることをご案内するとともに、関係機関を含めて必要な手続きへのサポートを行っていくものと考えております。

その他の質問

・ユーバスとえびなくるの実証運行について



海老名市におけるグローバル化とデジタル化について

政進会 葉梨 之紀

問 まちづくり第2ステージの真つただ中にある本市にとって、自治体経営という観点においてもグローバル化やデジタル化の取り組みは大変重要になっています。

1990年以降、日本の経済社会における最大の変化はグローバル化とデジタル化であり、日本経済が停滞する原因をこれらへの対応の遅れに求める議論があります。一方で少子高齢化による依存人口の増大と労働力不足や、インベシジョン、発明の欠落が原因とする議論もあります。

現代社会における成長の鍵であるグローバル化・デジタル化の現状に鑑みて、地方自治体としての本市のあるべき姿、将来政策について、市長の考えをお伺いいたします。

答 (市長) …グローバル化やデジタル化の進展は、人や情報の往来を活発にし、経済活動や市民生活の利便性向上などの多くのメリットをもたらしてきました。しかし地方自治体には、地域間競争の激化や世界経済の影響を受けやすくなったこと、デジタル化への対応力による格差など新たな課題も生じています。市ではこうした時代の変化を的確に捉え、デジタル技術を活用して行政サービスの向上や業務の効率化を進めるとともに、多様な価値観を尊重し、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

グローバル化やデジタル化は時代の大きな潮流ですが、重要なことは、人と人とのつながりを大切にしながら、これらを市民一人一人の豊かな暮らしや地域の発展につなげていくことだと思っています。今後も、えびな未来創造プラン2020の基本理念「みんなが笑顔住みやすいまちえびな」の実現に向けて取り組んでまいります。

